

ごあいさつ

日本水大賞名誉総裁の秋篠宮文仁親王殿下ならびに同妃殿下をここにお迎えして、第12回「日本水大賞」の贈呈式を挙げていただきますことを心からお礼申し上げます。あわせてこの賞の運営にかかわられた関係者の方々にも委員会を代表しましてお礼申し上げます。

宇宙空間で私たちは一瞬たりともそのままでは生きていきません。そのため人間は科学技術で人工の地球環境を持つ宇宙船を作りました。そこから見る地球は、言葉には言い尽くすことができないほど美しく青く輝いています。生命がはぐくまれているのは地球を取り囲む水の存在にあること、そしてすべての場所につながっていることを誰もがすぐ理解できます。その貴重な水惑星地球の自然環境を人間の都合で今まで変えてきたため、人間の数は増えましたが、そのほかの多様な地球生命に影響が出始めました。これ以上多様な生命が失われると、逆に人間の生活にも悪影響する心配が出てきました。自然の力による水災害から私たちのいのちを守りつつ、生活に必要で安全な水の確保と、さらには自然の中に住む多様な生命が必要な水を保ちながら未来へつながって行く方法を真剣に考える時になりました。

「日本水大賞」は地球の一地方である日本を中心に水のつながりや役割を調べ、よりよく利用する方法を考え、私たちの身の回りの生活を豊かにすると同時に、そこで得られた知識や知恵がさらには「日本ストックホルム青少年水大賞」で世界につながります。参加者の研究や活動がそこでは世界の人々の知恵になり、ひいては水惑星全体の生命に貢献するはずです。

本日は表彰される研究や活動は全国から幅広く参加された多くの中の代表ですが、さらに多くの方々に水に関心を持っていただくと同時に、今後とも関係各方面の皆様のご支援、ご協力をいただき、私たちが賢くこの貴重な水惑星に生き延びていく知恵を見つけられれば幸いです。

最後になりましたが、この選考のために労をとられた選考委員会の皆様方のお力添えに深く感謝申し上げます。また応募された個人と諸団体の皆様方、および主催、後援団体の皆様方のご協力にも感謝申し上げます。

平成22年 7月1日

日本水大賞委員会

委員長 毛利 衛